第９章
大分の野菜畑 豊後大野

ーキャッチフレーズの誕生ー

平成 23（2011）年に策定された「第２次豊後大野市農業振興計画」の重点施策に「地域性を生かした産地化とぶんご大野ブランドの確立」があり、その取り組みの中で生まれたキャッチフレーズが、『大分の野菜畑　豊後大野』です。

ーキャッチフレーズの発信ー

平成 27（2015）年 11 月には、『大分の野菜畑 豊後大野』の情報発信拠点として、大分市中央町にアンテナショップ「ぶんご大野ビューロ　大地の物語」を開店し、このキャッチフレーズを市外へと広めていきました。

また、『大分の野菜畑　豊後大野』をキャッチフレーズに、プロモーションビデオやテレビコマーシャル、幟や横断幕等を制作し、広告宣伝や市場販促等でのＰＲも行いました。

ーブランド確立への取組ー

平成 28（2016）年に策定された「第３次豊後大野市農業振興計画」では、表紙に大きく「大分の野菜畑　豊後大野」が書かれています。

この計画では、農業振興施策等の様々な取組の中で、『大分の野菜畑　豊後大野』を地域ブランドとして確立する事が挙げられています。

また、戦略品目として、夏秋ピーマン、かんしょ、さといも、白ねぎの４品目。重点品目として夏秋なす、ゴーヤ、水田ごぼう、アスパラガス、いちご、スイートピーの６品目を選定し、『大分の野菜畑　豊後大野』のブランド確立と農業者が経営安定を図れる各種施策の推進に努めました。

令和３（2021）年に策定された「第４次豊後大野市農業振興計画」では、園芸重点品目として夏秋ピーマン、さといも、かんしょ、白ねぎ、夏秋なす、ゴーヤ、きく、スイートピー、かぼす、くりの 10 品目を選定し、『大分の野菜畑　豊後大野』のブランド化に向けた産地の拡大を目指し取り組みを行いました。

ブランドの知名度向上を図るための取り組みとして、市長によるトップセールスを実施してきました。主要な青果市場のセリ場にて豊後大野市産野菜のＰＲを行い、その後量販店で販促活動を行いました。



大分の野菜畑「福岡トップセールス」（令和8（2026）年7月）

令和４（2022）年には、『大分の野菜畑　豊後大野』のホームページを開設しました。

ホームページでは、豊後大野市のプロモーションビデオや豊後大野市産の野菜についての説明、時期毎の病害虫に関する注意報、インキュベーションファーム等担い手育成に関する情報、さといもを使ったクッキング動画等農業に関する情報等を広く発信しています。

令和８（2026）年に策定された「第５次豊後大野市農業振興計画（令和８（2026）年度～令和 15（2033）年度）」では、野菜・花き・果樹合わせて 12品目を園芸重点推進品目として選定し、『大分の野菜畑豊後大野』の更なるブランド化による産地維持・拡大に取り組んでいます。

－第5次豊後大野市農業振興計画園芸重点推進品目－



夏秋ピーマン



白ねぎ



かんしょ



夏秋なす



さといも



きく



スイートピー



露地かんきつ（かぼす・ゆず）



ホオズキ



くり



花木類



キウイフルーツ